

5-20 地域分断

5-20-1 現況

会場利用者や地域住民等の日常的な生活移動動線の状況について、国土地理院の地図等により各会場の周辺における歩行者・自転車等の移動動線を整理した。

既存の各会場周辺の生活移動動線の状況は図 5-20-1 (p5-20-2～p5-20-14) に示すとおりである。

ヘリテッジゾーンは道路網及び鉄道網が成熟した地域であり、2020 年東京大会の会場は既に公共的な利用がされている施設・公園であることから、主な幹線道路における歩行者専用道路や歩道橋等が既に整備されており、生活移動動線の確保がなされている。

東京ベイゾーンは比較的新しい造成地であり、水路・運河等により土地が区分されているが、ゆりかもめ、りんかい線等の鉄道網や、道路網により快適なアクセス経路が確保されている。都心の観光スポットとして商業施設が立ち並び、歩行者用の通路や歩道橋等が整備されており、生活移動動線の確保がなされている。

なお、若洲海浜公園については、現在での交通手段が乗用車、バス等での移動に限られており、また近隣に居住施設が無いため、会場周辺での生活移動動線は想定されない。

また、海の森クロスカンントリーコース、海の森水上競技場、海の森マウンテンバイクコースが開催される中央防波堤については、現在のアクセス手段が車両に限定されており、また現在公共的な利用はされていない（図 5-20-1 (11)、p5-20-7 参照）。



図 5-20-1(1) 会場周辺の移動動線の状況（オリンピックスタジアム、東京体育館）



図 5-20-1(2) 会場周辺の移動動線の状況（国立代々木競技場）

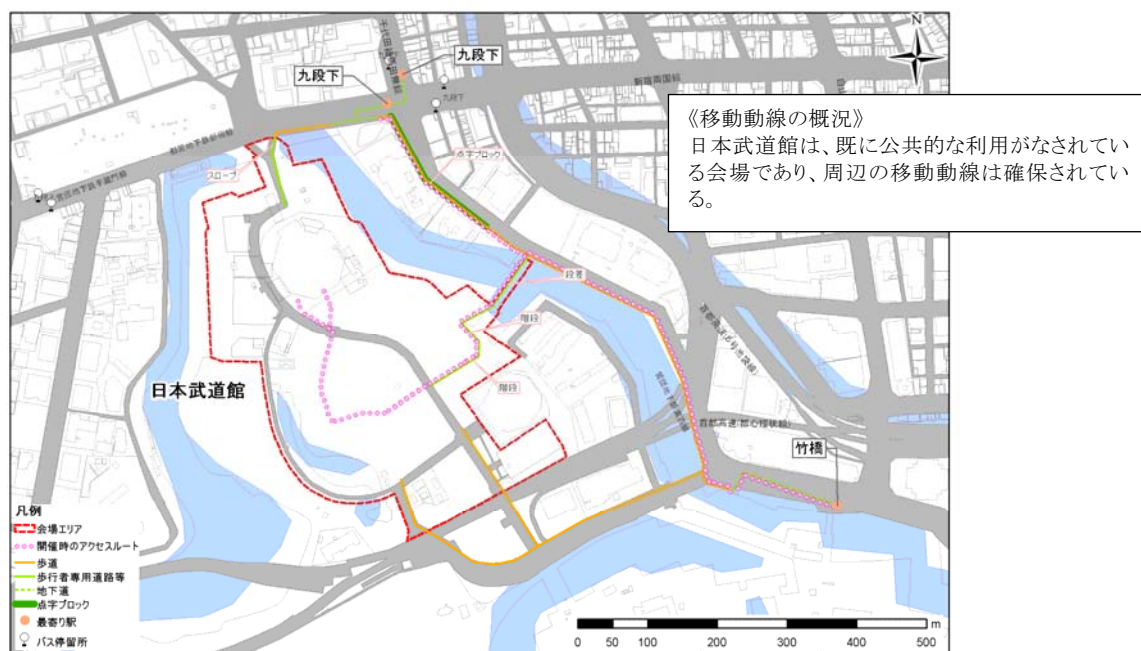


図 5-20-1 (3) 会場周辺の移動動線の状況（日本武道館）



図 5-20-1 (4) 会場周辺の移動動線の状況（皇居外苑、東京国際フォーラム）



図 5-20-1 (5) 会場周辺の移動動線の状況 (国技館)



図 5-20-1 (6) 会場周辺の移動動線の状況

(有明アリーナ、有明 BMX コース、有明ベロドローム、有明体操競技場)



図 5-20-1 (7) 会場周辺の移動動線の状況（お台場海浜公園）



図 5-20-1 (8) 会場周辺の移動動線の状況（潮風公園）



図 5-20-1 (9) 会場周辺の移動動線の状況
(有明テニスの森、東京ビッグサイト・ホールA、B、IBC/MPC)



図 5-20-1 (10) 会場周辺の移動動線の状況 (大井ホッケー競技場)



図 5-20-1(12) 会場周辺の移動動線の状況（若洲オリンピックマリーナ）



図 5-20-1(13) 会場周辺の移動動線の状況（葛西臨海公園）

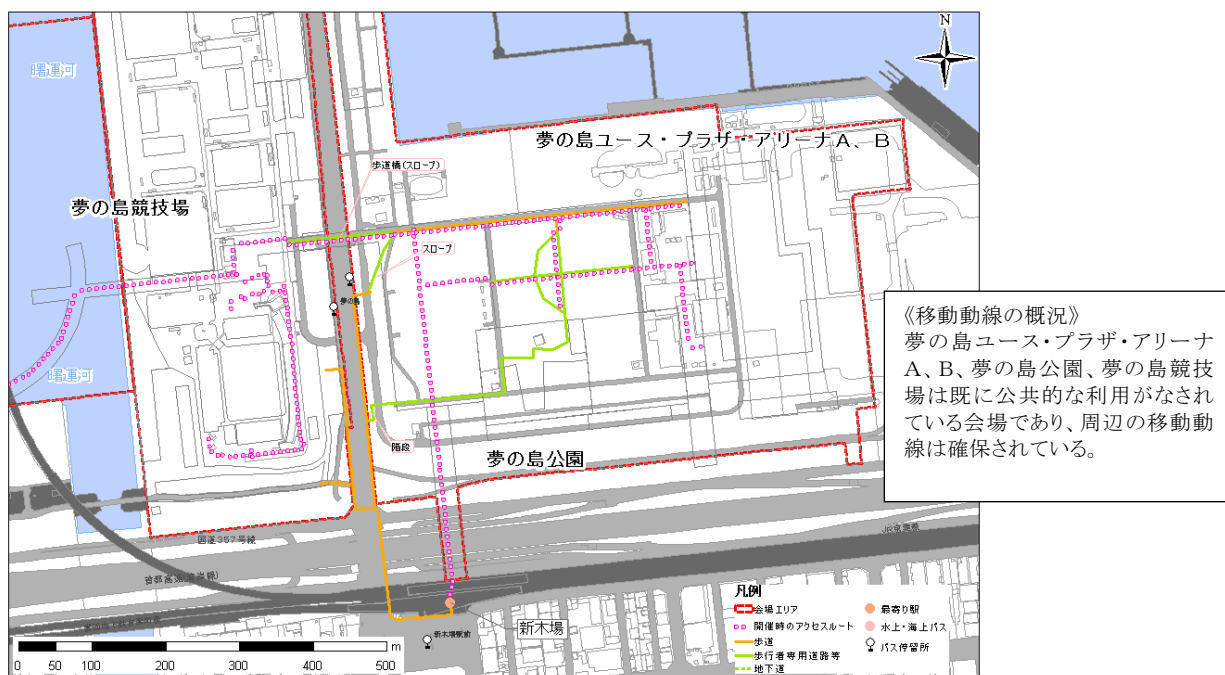


図 5-20-1(14) 会場周辺の移動動線の状況
(夢の島ユース・プラザ・アリーナ A、B、夢の島公園、夢の島競技場)



図 5-20-1(15) 会場周辺の移動動線の状況
(オリンピックアクアティクスセンター、ウォーターポロアリーナ)

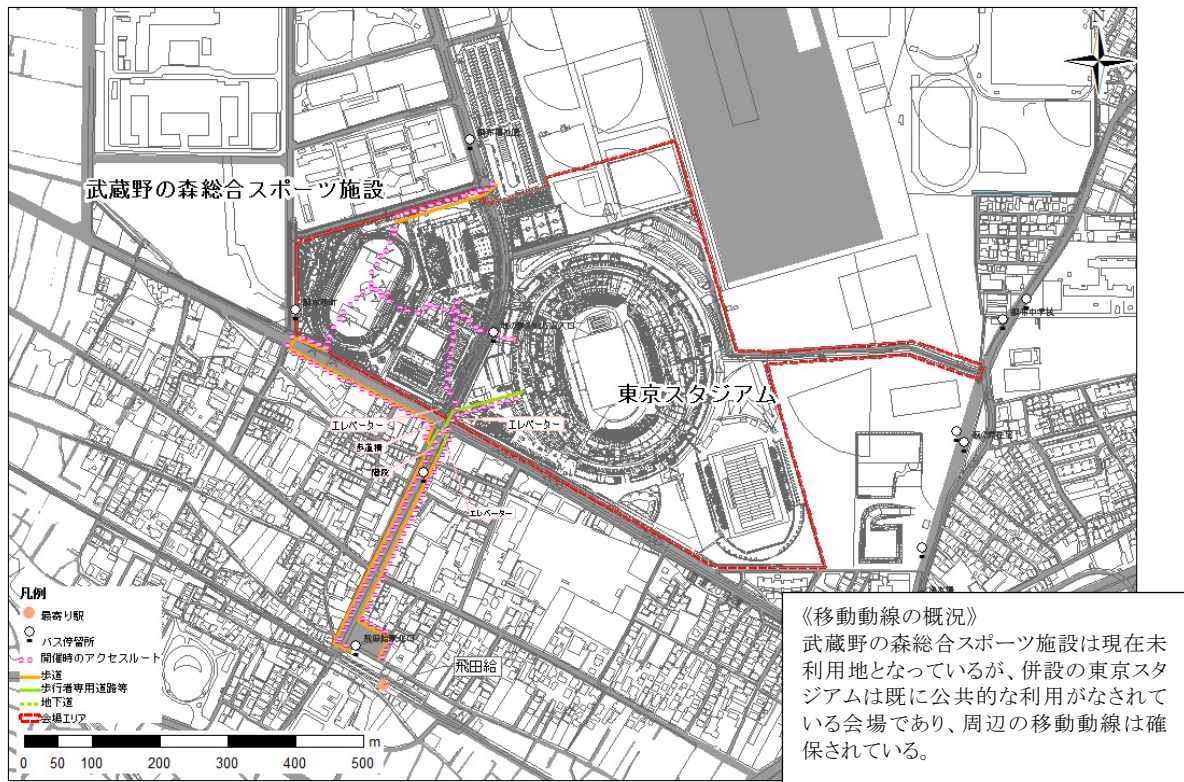


図 5-20-1(16) 会場周辺の移動動線の状況
(東京スタジアム、武蔵野の森総合スポーツ施設)

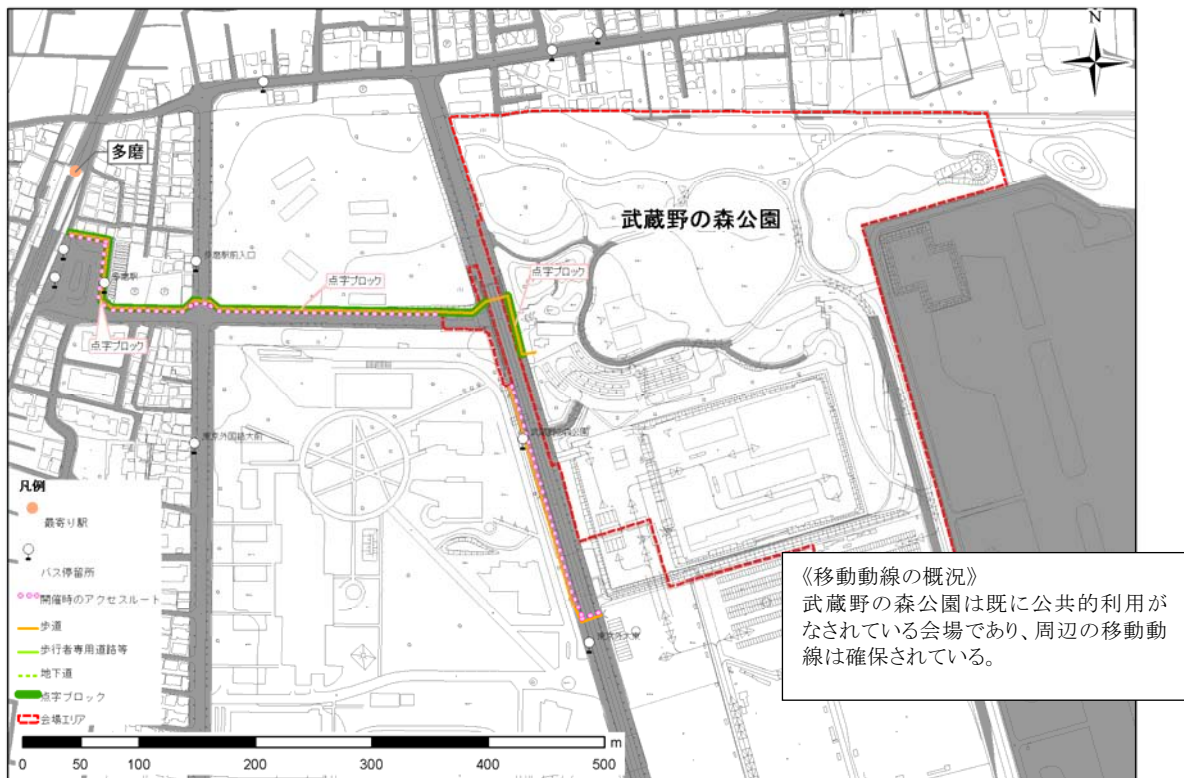


図 5-20-1(17) 会場周辺の移動動線の状況 (武蔵野の森公園)

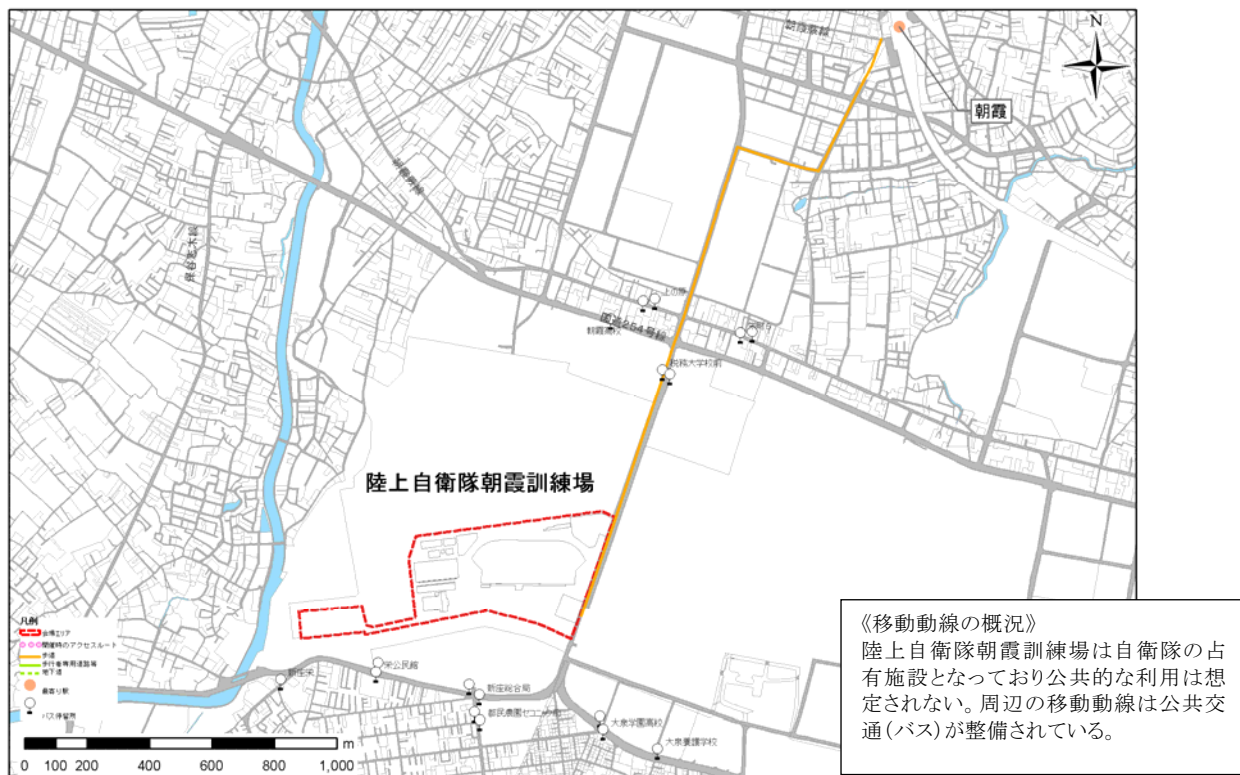


図 5-20-1(18) 会場周辺の移動動線の状況(陸上自衛隊朝霞訓練場)



図 5-20-1(19) 会場周辺の移動動線の状況(霞ヶ関カンツリー倶楽部)

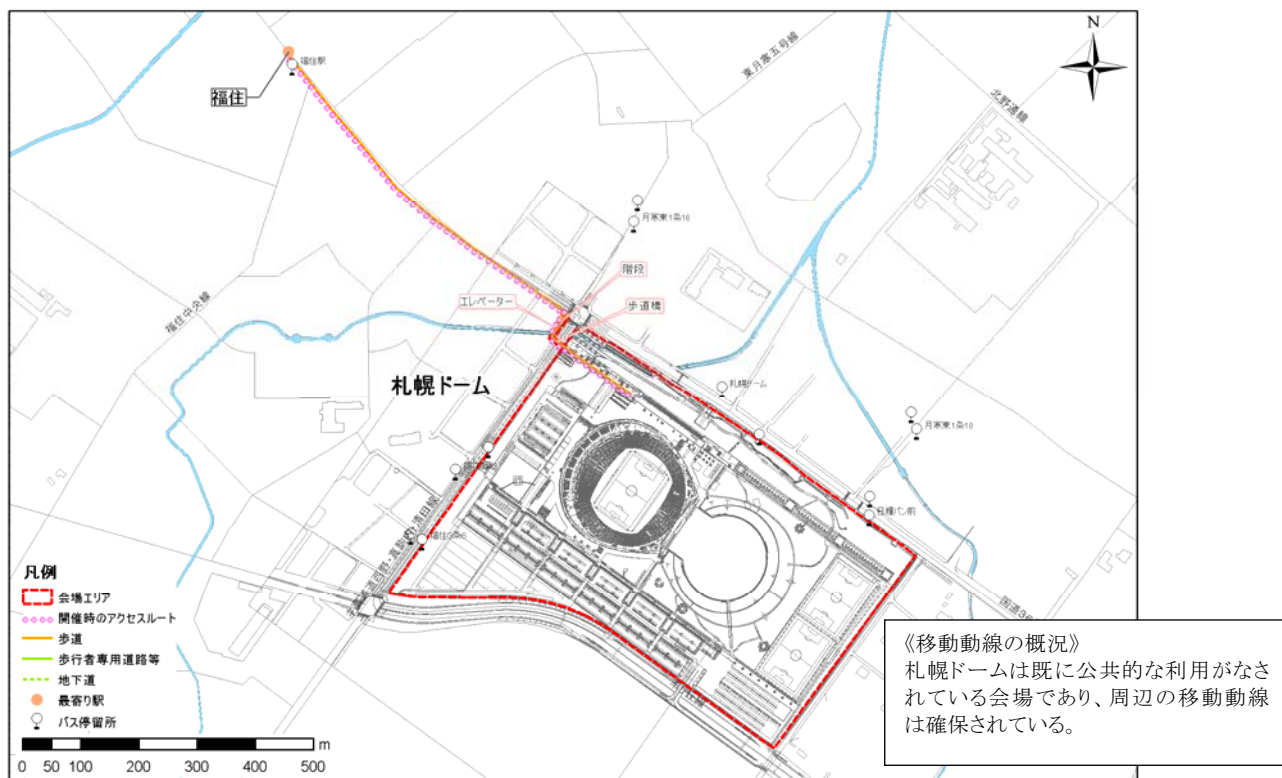


図 5-20-1 (20) 会場周辺の移動動線の状況（札幌ドーム）

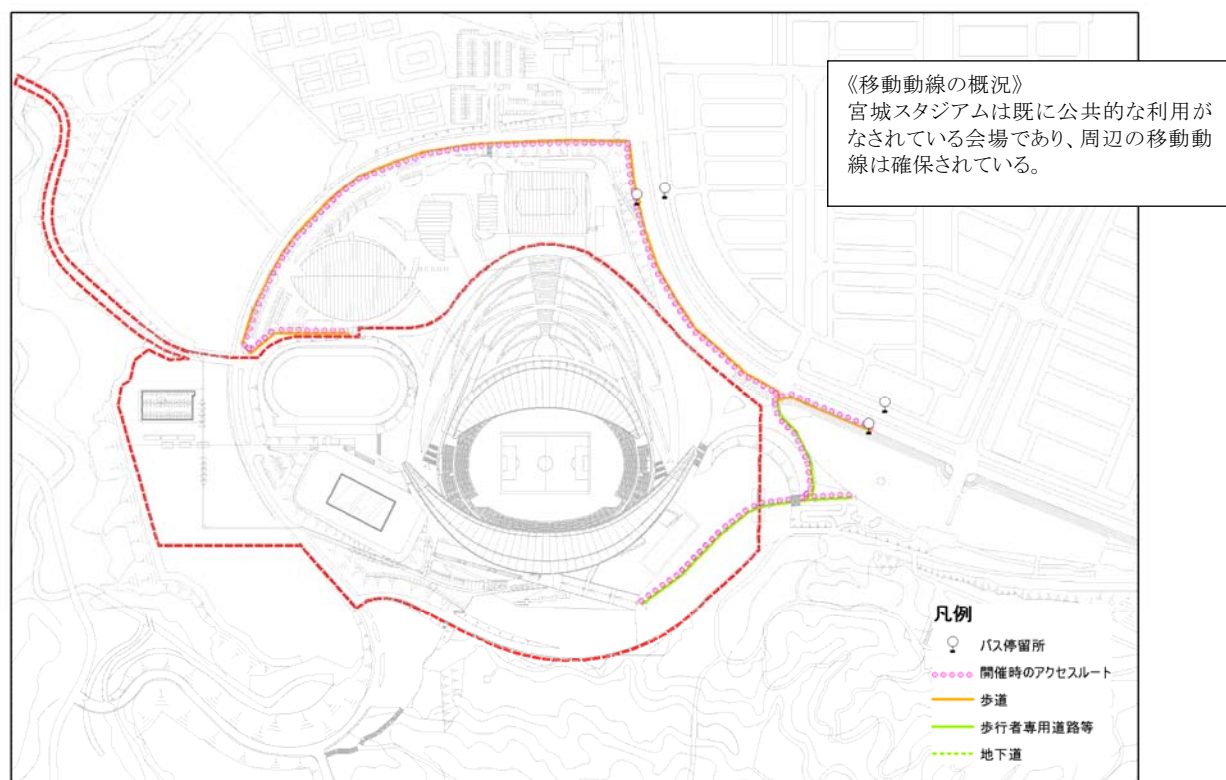


図 5-20-1 (21) 会場周辺の移動動線の状況（宮城スタジアム）

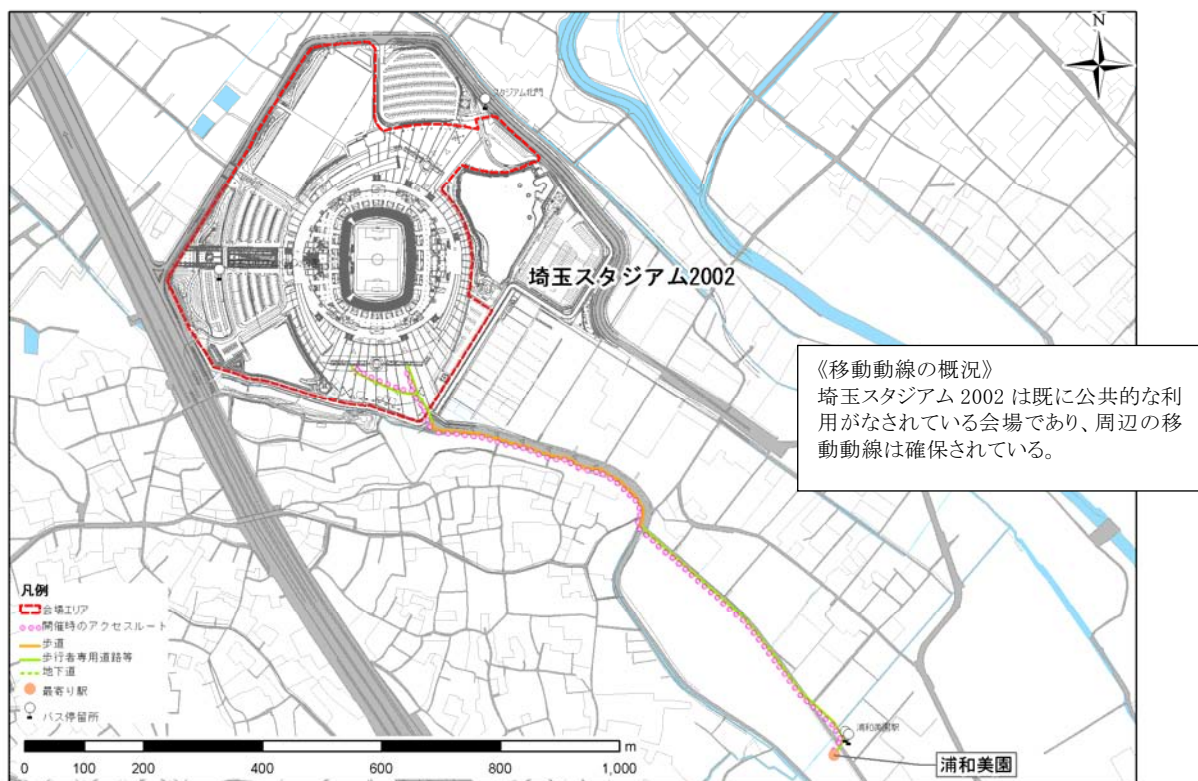


図 5-20-1 (22) 会場周辺の移動動線の状況（埼玉スタジアム 2002）

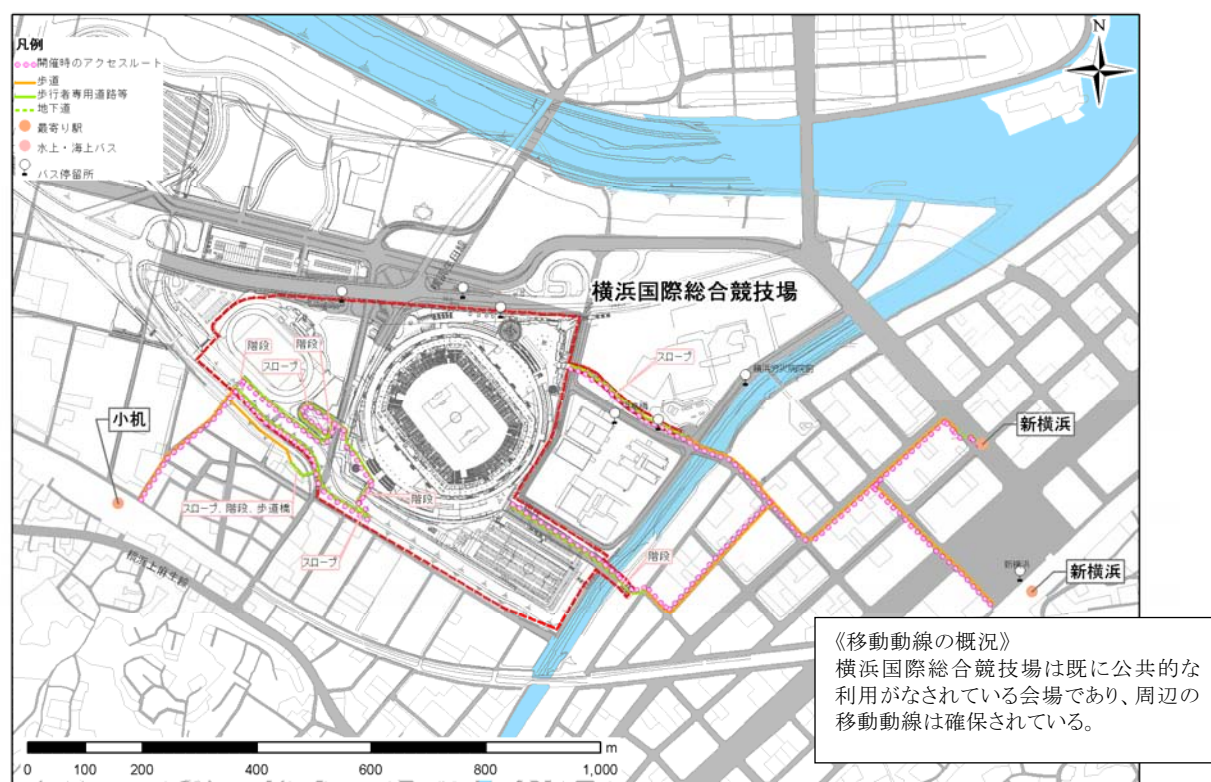


図 5-20-1 (23) 会場周辺の移動動線の状況（横浜国際総合競技場）



図 5-20-1 (24) 会場周辺の移動動線の状況（選手村）

5-20-2 予測評価（会場別）

（1）評価の指標及び目安

会場別検討における評価の指標及び目安は、表 5-20-1 に示すとおりであり、移動動線の分断又は進展を評価の指標として、歩行者、自転車等の移動動線の分断やネットワーク化の進展の有無を目安として評価を行った。

表 5-20-1 評価の指標及び目安

評価の指標	評価の基準	評価の目安				
		- 2	- 1	0	+ 1	+ 2
生活移動動線の分断又は進展	①歩行者、自転車等の移動動線を分断しないこと	—	動線の分断あり	現況と変わらない	—	—
	②歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無	—	—	現況と変わらない	ネットワーク化の進展あり	—

（2）予測評価の方法

会場別の地域分断について、それぞれの時期における予測評価方法は表 5-20-2 (p5-20-16) に示すとおりである。

開催中（施設の存在による影響）、開催中（競技の実施による影響）、開催後（後利用による影響）において、施設の存在や競技の実施による「歩行者、自転車等の移動動線の分断の有無」及び「歩行者、自転車等の動線のネットワーク化の進展の有無」について、既存の生活移動動線の状況と施工計画における改変エリアをもとに予測評価を行った。

表 5-20-2 予測評価方法（会場別）

予測評価の時期		予測評価の方法
開催前	工事による影響	会場の改変エリアの工事による地域分断の影響については、「施設の存在による影響」と同等であることから、「施設の存在による影響」で予測評価を行うこととし、工事による影響は予測評価の対象外とした。
開催中	施設の存在による影響	開催中における施設の存在による影響について、期間中に想定される交通規制等も勘案し、既存施設周辺の生活移動動線の現状と、施工計画における改変エリアから、生活移動動線の分断について予測評価を行った。
	競技の実施による影響	競技の実施による影響として、競技実施による生活移動動線の分断について予測評価を行った。
開催後	工事による影響	会場の改変エリアの工事による地域分断の影響については、「施設の存在による影響」と同等であることから、「施設の存在による影響」で予測評価を行うこととし、工事による影響は予測評価の対象外とした。
	後利用による影響	後利用による影響については、既存の会場周辺の生活移動動線施設の現状と、施工計画における改変エリアから、生活移動動線の分断について予測評価を行った。 なお、改修を伴わない既存会場（東京体育館、国立代々木競技場など13会場）については、後利用時の影響は想定されないことから、予測評価の対象外とした。 また、有明BMXコース、有明ベロドローム、有明体操競技場、海の森マウンテンバイクコースについては、仮設施設の撤去後の後利用時の影響が想定されないため、後利用による予測評価を行わなかった。 陸上自衛隊朝霞訓練場は、陸上自衛隊の専有施設であり、後利用時の影響が想定されないため、後利用による予測評価を行わなかった。

(3) 予測評価の結果

1) 開催中（施設の存在による影響）

① 一次評価

(イ) 移動動線の分断

2020年東京大会の会場は、既に公共的な利用がされている施設・公園の敷地内や現在未利用地の場所等であり、いずれの会場においても改変エリアが既存の生活移動動線を分断しないため、現況と変わらないと予測される。従って、すべての会場について評価は「0」とした。

(ロ) ネットワーク化の進展

有明北地区の会場（有明アリーナ、有明BMXコース、有明ベロドローム、有明体操競技場）については、現在の未利用地の状態から競技会場が整備されるが、周辺における歩行者のアクセスルート等の移動動線については既に整備されていることから、現況と同程度であるとしてこれらの会場の評価は「0」とした。

また、海の森地区の会場（海の森クロスカントリーコース、海の森水上競技場、海の森マウンテンバイクコース）については、現在の未利用地の状況から、競技会場が整備され

ることで、バス等の公共交通アクセス手段が整備され、海の森地区のネットワーク化が進展すると考えられる。したがって、これらの会場の評価は「+1」とした。

その他の2020年東京大会の会場は、既に公共的な利用がされている施設・公園の敷地内や現在未利用地の場所等であり、現況と変わらないと予測される。従って、その他の会場の評価は「0」とした。

② ミティゲーション

開催中の施設の設置に際して、生活移動動線の確保や進展を促進するためのミティゲーションは、表5-20-3に示すとおりである。

東京都は、徒歩などにより、安全・快適にアクセスすることも可能な環境を提供するため、うるおいのある歩行者空間の整備などを進める。

また、選手村については、開催中において交通規制を行うが、代替ルートの確保等の措置により生活移動動線の確保を図る。

なお、表5-20-3に示す各会場におけるミティゲーションの具体的な将来計画については、実施段階における計画の具体化に併せて検討するものとする。

表 5-20-3 地域分断に関するミティゲーションの内容（開催中）

会場No.	会場名	ミティゲーションの内容
全会場	全会場	東京都は、大会開催中において公共交通機関で会場に来場する以外に、直接、徒歩などにより、安全・快適にアクセスすることも可能な環境を提供するため、うるおいのある歩行者空間の整備などを進める。
OV	選手村	東京都は、開催中の選手村については交通規制を行うが、生活移動動線の確保のために以下の措置を行う。 ・代替ルートによる生活移動動線の確保 ・既存鉄軌道駅の改良による駅へのアクセス性の向上

③ 二次評価

(イ) 移動動線の分断

地域分断に関するミティゲーションの内容は表5-20-3に示すとおりであり、各会場について、うるいおいのある歩行者空間の整備などを進める。

移動動線の分断については、開催中の生活移動動線の分断がなく、現況と変わらないと予測されることから、一次評価と同様にいずれの会場についても評価結果は「0」とした。

(ロ) ネットワーク化の進展

地域分断に関するミティゲーションの内容は表5-20-3に示すとおりであり、各会場について、うるいおいのある歩行者空間の整備などを進める。

ネットワーク化の進展については、海の森地区の会場（海の森クロスカンントリーコース、海の森水上競技場、海の森マウンテンバイクコース）において、現在の未利用地の状況から、競技会場が整備されることで、ネットワーク化が進展すると考えられることから、一次評価と同様に評価結果は「+1」とした。

他の会場については、一次評価と同様に現況と変わらないと予測されることから、評価

結果は「0」とした。

2) 開催中（競技の実施による影響）

① 一次評価

(イ) 移動動線の分断

屋外競技が行われる会場のうち、以下の4会場については起点又はコースとして会場外の道路を使用する。これらの屋外競技の実施時には、周辺的生活移動動線の分断が生じると考えられるが、競技実施時の一時的なものであり、現況とほとんど変わらないと予測した。

オリンピックスタジアム（陸上競技（マラソン、競歩））

お台場海浜公園（トライアスロン（バイク、ラン））

皇居外苑（都心周回コース）（自転車（ロード・レース））

武蔵野の森公園（自転車（ロード・レース））

したがって、上記3競技にかかる会場の評価は現況と変わらないことから評価結果は「0」とした。

その他の競技会場についても、競技の開催に際して、最寄りの公共交通機関等からの観客の集中的な往来や交通規制による生活移動動線の分断が考えられるが、競技実施前後の一時的なものであり、現況とほとんど変わらず生活移動動線は確保されることが予測されるため、評価結果は「0」とした。

なお、選手村については、選手の安全確保のため一般交通のアクセス制限をする必要があり、開催中は交通規制を行う。このため、選手村については開催中においても生活移動動線の分断があると予測されることから、評価結果は「-1」とした。

(ロ) ネットワーク化の進展

「施設の存在による影響」での検討と同様、海の森地区の会場（海の森クロスカントリーコース、海の森水上競技場、海の森マウンテンバイクコース）については、現在の未利用地の状況から、競技会場が整備されることで、ネットワーク化が進展すると考えられることから、評価結果は「+1」とした。

他の会場については、現況と変わらないと予測されることから、評価結果は「0」とした。

② ミティゲーション

開催中の競技の実施に際して、生活移動動線の確保や進展を促進するためのミティゲーションは、施設の存在と同様であり、表 5-20-3 (p5-20-17) に示すとおりである。

③ 二次評価

(イ) 移動動線の分断

二次評価における選手村については、表 5-20-3 (p5-20-17) に示したミティゲーションを実施することにより生活移動動線が確保されることが見込まれることから、現況と変わらなくなると予測した。したがって、選手村の評価結果は「0」とした。

選手村以外の会場は、一次評価と同様、開催中の生活移動動線の分断がなく、現況と変わらないと予測されることから、評価結果は「0」とした。

(ロ) ネットワーク化の進展

一次評価と同様、海の森地区の会場（海の森クロスカンントリーコース、海の森水上競技場、海の森マウンテンバイクコース）については、現在の未利用地の状況から、競技会場が整備されることで、ネットワーク化が進展すると考えられることから、評価結果は「+1」とした。

他の会場については、一次評価と同様に現況と変わらないと予測されることから、評価結果は「0」とした。

3) 開催後（後利用による影響）

① 一次評価

(イ) 移動動線の分断

開催後の選手村については、開催中に必要だった交通規制が解除されるため、現況と変わらなくなると予測する。したがって、選手村についての評価結果は「0」とした。

その他の会場については、開催前から開催後を通じて生活移動動線の分断がなく、現況と変わらないと予測されるため、評価結果は「0」とした。

(ロ) ネットワーク化の進展

海の森地区の会場では、海の森クロスカンントリーコース、海の森水上競技場は公共交通によるネットワークの進展が維持されることから、評価結果は「+1」とした。

その他の会場については、開催前から開催後を通じて現況と変わらないと予測されるため、評価結果は「0」とした。

② ミティゲーション

選手村については、開催中の交通規制が解除されるとともに、開催中と同様に既存鉄軌道駅の改良によるアクセス性の向上が継続される。また晴海地区全体の利用者が増加することを想定し、新たなアクセス手段となる交通システムが検討され、これは輸送モールのレガシーとなる。

その他の会場については、現況と変わらないため、ミティゲーションは想定していないが、実施段階においては計画の具体化に併せ、ミティゲーションの可能性について検討を行うものとする。

表 5-20-4 地域分断に関するミティゲーションの内容（開催後）

会場No.	会場名	ミティゲーションの内容
0V	選手村	・ 既存鉄軌道駅の改良による駅へのアクセス性の向上の継続 ・ 輸送モールのレガシーとなる晴海地区の新たなアクセス手段となる交通システムの検討

③ 二次評価

(イ) 移動動線の分断

選手村については、開催中の交通規制が解除される。

その他の会場についても、一次評価同様、生活移動動線の分断がなく、現況と変わらないと予測されるため、すべての会場において評価結果は「0」とした。

(ロ) ネットワーク化の進展

選手村については、ミティゲーションの実施により、大会開催中の交通規制が解除されるとともに、既存駅の改良や、新たなアクセス手段となる交通システムの検討・新たな輸送モールのレガシーにより、生活移動動線のネットワーク化が進展すると予測する。したがって、選手村の評価結果は「+1」とした。

また、海の森地区の会場では、海の森クロスカンントリーコース、海の森水上競技場は公共交通によるネットワークの進展が維持されることから、一次評価同様、評価結果は「+1」とした。

その他の会場については、一次評価同様、現況と変わらないと予測されるため、評価結果は「0」とした。

(4) 評価結果の総括

競技会場の整備計画による、会場利用者や地域住民の移動動線への影響について、大会計画及び現況の移動動線の状況から評価を行った。

2020年東京大会の競技会場の多くは、既存の公園や施設等を活用しており、現在既に移動動線が十分に確保されており、開催による移動動線への影響は想定されない。

また、現在未利用地であり移動動線のない有明北地区や海の森地区については、会場の整備により、新たな移動動線が整備・進展されることが考えられる。

各会場に対する地域分断の評価結果は表 5-20-5(p5-20-21～5-20-22)に示すとおりである。

(イ) 移動動線の分断

移動動線の分断については、選手村は開催中において選手の安全確保の必要から交通規制を行うため一次評価において「-1」となるが、代替ルートの確保等のミティゲーションの実施により「0」となる。

(ロ) ネットワーク化の進展

ネットワークの進展については、海の森クロスカンントリーコース及び海の森水上競技場において、新たな移動動線が整備・進展されることが考えられることから、開催中の評価が「+1」となり、後利用が想定される会場については開催後も「+1」となる。

選手村は開催中において選手の安全確保の必要から交通規制を行うが、開催後はその規制が解除になるとともに開催中の交通に関する対策が維持され、晴海地区の新たなアクセス手段となる交通システムが検討されることにより、生活移動動線のネットワーク化は進展することから「+1」の評価となる。

表 5-20-5(1) 各会場に対する地域分断の評価結果総括表（移動動線の分断）

会場		評価点(一次)						評価点(二次)					
No.	名称	開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
		工事 影響	招致等 の影響	存在 影響	競技の 影響	工事 影響	後利用 の影響	工事 影響	招致等 の影響	存在 影響	競技の 影響	工事 影響	後利用 の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)			0	0		0			0	0		0
2	東京体育館			0	0					0	0		
3	国立代々木競技場			0	0					0	0		
4	日本武道館			0	0		0			0	0		0
5	皇居外苑			0	0		0			0	0		0
6	東京国際フォーラム			0	0					0	0		
7	国技館			0	0					0	0		
8	有明アリーナ			0	0		0			0	0		0
9	有明BMXコース			0	0		-			0	0		-
10	有明ベロドローム			0	0		-			0	0		-
11	有明体操競技場			0	0		-			0	0		-
12	有明テニスの森			0	0		0			0	0		0
13	お台場海浜公園			0	0		0			0	0		0
14	潮風公園			0	0		0			0	0		0
15～16	東京ビッグサイト・ホールA、B			0	0					0	0		
17	大井ホッケー競技場			0	0		0			0	0		0
18	海の森クロスカントリーコース			0	0		0			0	0		0
19	海の森水上競技場			0	0		0			0	0		0
20	海の森マウンテンバイクコース			0	0		-			0	0		-
21	若洲オリンピックマリナ			0	0		0			0	0		0
22	葛西臨海公園			0	0		0			0	0		0
23～24	夢の島ユース・ブラザ・アリーナA、B			0	0		0			0	0		0
25	夢の島公園			0	0		0			0	0		0
26	夢の島競技場			0	0					0	0		
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ			0	0		0			0	0		0
29	武蔵野の森総合スポーツ施設			0	0		0			0	0		0
30	東京スタジアム			0	0					0	0		
31	武蔵野の森公園			0	0		0			0	0		0
32	陸上自衛隊朝霞訓練場			0	0		-			0	0		-
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部			0	0					0	0		
34	札幌ドーム			0	0					0	0		
35	宮城スタジアム			0	0					0	0		
36	埼玉スタジアム2002			0	0					0	0		
37	横浜国際総合競技場			0	0					0	0		
0V	選手村			0	-1		0			0	0		0
IBC/MPC	東京ビッグサイト(IBC/MPC)			0	0		0			0	0		0

※会場No.は、表 1-3-37 (p1-85～1-86) に示す会場No.を表す。

※評価点の目安は以下のとおりである。

- +2: 大きなプラスの影響
- +1: ある程度のプラスの影響
- 0: 中立
- 1: ある程度のマイナスの影響
- 2: 大きなマイナスの影響
- : 予測評価の検討において対象外とした影響
- : 網掛けは非該当項目のため対象外とした影響

表 5-20-5(2) 各会場に対する地域分断の評価結果総括表（ネットワーク化の進展）

会場		評価点(一次)						評価点(二次)					
No.	名称	開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
		工事 影響	招致等 の影響	存在 影響	競技の 影響	工事 影響	後利用 の影響	工事 影響	招致等 の影響	存在 影響	競技の 影響	工事 影響	後利用 の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)			0	0		0			0	0		0
2	東京体育館			0	0					0	0		
3	国立代々木競技場			0	0					0	0		
4	日本武道館			0	0		0			0	0		0
5	皇居外苑			0	0		0			0	0		0
6	東京国際フォーラム			0	0					0	0		
7	国技館			0	0					0	0		
8	有明アリーナ			0	0		0			0	0		0
9	有明BMXコース			0	0		-			0	0		-
10	有明ベロドローム			0	0		-			0	0		-
11	有明体操競技場			0	0		-			0	0		-
12	有明テニスの森			0	0		0			0	0		0
13	お台場海浜公園			0	0		0			0	0		0
14	潮風公園			0	0		0			0	0		0
15～16	東京ビッグサイト・ホールA、B			0	0					0	0		
17	大井ホッケー競技場			0	0		0			0	0		0
18	海の森クロスカントリーコース			+1	+1		+1			+1	+1		+1
19	海の森水上競技場			+1	+1		+1			+1	+1		+1
20	海の森マウンテンバイクコース			+1	+1		-			+1	+1		-
21	若洲オリンピックマリナ			0	0		0			0	0		0
22	葛西臨海公園			0	0		0			0	0		0
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B			0	0		0			0	0		0
25	夢の島公園			0	0		0			0	0		0
26	夢の島競技場			0	0					0	0		
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ			0	0		0			0	0		0
29	武蔵野の森総合スポーツ施設			0	0		0			0	0		0
30	東京スタジアム			0	0					0	0		
31	武蔵野の森公園			0	0		0			0	0		0
32	陸上自衛隊朝霞訓練場			0	0		-			0	0		-
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部			0	0					0	0		
34	札幌ドーム			0	0					0	0		
35	宮城スタジアム			0	0					0	0		
36	埼玉スタジアム2002			0	0					0	0		
37	横浜国際総合競技場			0	0					0	0		
0V	選手村			0	0		0			0	0		+1
IBC/MPC	東京ビッグサイト(IBC/MPC)			0	0		0			0	0		0

※会場No.は、表 1-3-37（p1-85～1-86）に示す会場No.を表す。

※評価点の目安は以下のとおりである。

+2: 大きなプラスの影響

+1: ある程度のプラスの影響

0: 中立

-1: ある程度のマイナスの影響

-2: 大きなマイナスの影響

－：予測評価の検討において対象外とした影響

■：網掛けは非該当項目のため対象外とした影響